

	分析して見えてきた課題	課題解決のための具体的な手立て
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「記述式の問題」、「漢字の読み書き」、「文章の構成の理解」に課題がある。 ※「粘り強く取り組む力」や「根拠を明確にして考えを述べる力」、「文章の構成を理解する力」の育成が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT(wordなど)を利用して書く力の向上を図る。 ・既修内容の復習
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで見た資料でないと活用できない ・複数の資料を関連付けて考えられない ※「資料を活用できる力」をつけたい ※知識も定着していないため、資料を活用できていないと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークからの資料だけでなく、様々な資料をワークシートや定期テストで使用していく
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・「記述する力」に課題がある。 ・求め方などの知識はあるが、なぜそれを活用するかがわかっていない。 ・作図することや比較して説明することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明力、ロジカルシンキングをつけるため、普段の授業で生徒たちへの問いかけ(特に「なぜ」)を意図的に増やす。 ・図形や性質を理解させるために、折り紙などを活用して手を使って考えさせる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で経験したものはよくできているが、経験していないものに関しては正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験観察の充実と確かな学力のための問題演習を取り入れていく
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・読解で読み取れてはいるが、上から読み取っていき、「よく読み取れたこと」や「見慣れたもの」に気を取られてしまい、その後深く読み取れたり、確認することができていない。 ・表現パターンが少なく、解答できない問題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取りや表現の活動を増やし、答えは1つではなく生徒が上手く活用できるものを増やしていく。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲はやや高い傾向にある。しかし、学校からの宿題に魅力を感じている生徒が少ない。質か量か不明であるが、課題の設定の仕方に工夫が必要である。 ・勉強していて不思議だな？なぜだろう？と感じる生徒が少ない。思考力に課題があると考えられる。 ・情報収集に対する回答は前向きな答えが多い。調べてみようという気持ちがある。思考力をはたらかせるような課題の提示が良いのではないかと考えられる。 ・学習して身につけたことを将来の仕事や生活に役立たせるため、キャリア教育に重点をおいた指導が必要である。 ・授業の内容を分かっていると答えた生徒は平均を大きく上回っている。 ・その教科が好きか嫌いかという質問については、英・数が他教科よりも低い。しかし、将来のために大切かという質問に対しては、大切だと思う生徒が多くいた。 ・身近な人から褒められたり、認められたりすることで自分の良さに気付けるのではないか。 ・人のために役に立ちたいという気持ちを生かした活動を取り入れていくとよい。 	